

解 答

1 (C)	2 (A)	3 (A)	4 (B)	5 (A)	6 (B)
7 (C)	8 (D)	9 (D)	10 (A)	11 (D)	12 (A)
13 (A)	14 (B)	15 (A)	16 (B)	17 (C)	18 (D)
19 (A)	20 (D)				

1. 「雨がやまないと、私たちは外へ食事に出かけることができないだろう」

- ▶ 選択肢には前置詞と接続詞が並んでいます。空欄の後は the rain stops という従
S(主語) V(動詞)

属節を主節の we won't be able to eat outsideにつなぐはたらきをしているので、
節をつなぐはたらきをする接続詞を選ぶ方針で解きます。

- ▶ 選択肢の中で接続詞の用法をもつものは、(B)Except(~ということを除いて)、
(C)Unless(~でない限り)の2つですが、主節の内容を否定するための条件を示す
(C)Unlessが正解になります。

2. 「お客様、申し訳ございませんが、この建物では喫煙は許可されておりません」

- ▶ 選択肢には動詞 **permit** (~を許可する) とその分詞形 (-ed/-ing)、及びそこから派生
した名詞 (permission「許可」) が並んでいます。本問では空欄を含む英文の構造から
選択肢をしづらしていく方針で解きましょう。

- ▶ ...smoking is not () in this building.

まず「is not ()」の形から、原形である(D)permitは除外されます。名詞で
ある(B)permissionを選んだ場合は、Smoking ≠ permissionなので、これも不可
です。進行形となる(C)permittingを選んだ場合は目的語がないので不可です。よ
って、受動態となる(A)permittedを選べば文意の通った英文になります。

3. 「ジェリーは同じことを何度も言っている。私は彼の言うことを聞くのにうんざりしている」

- ▶ 選択肢には動詞 **listen** のさまざまな形が並んでいます。本問では空欄直前の形容
詞 **tired** の語法に着目して解きましょう。

- ▶ be tired to do という使い方はしないので、(B)to listenは除外されます。また、
過去分詞や完了形が続く形である(C),(D)も不可です。be tired of listeningで「聞
き飽きている」という意味になるので、これが正解になります。

□ **be tired of** ~ 「～に飽きている」

I am tired of waiting.

(私は待たされるのにうんざりしています)

- ▶ **be tired from** ~ 「～で疲れている」との混同に注意する。

I am tired from waiting. (私は待ちくたびれました)

4. 「春にアレルギーに悩まされる人々に対しては同情を禁じ得ない」

- ▶ 選択肢には前置詞や接続詞、副詞が並んでいます。空欄に入る語は、直後の
sympathy(同情)をつなぐはたらきをしているので前置詞の中から選びましょう。

- ▶ 「～を除いて」という意味の前置詞(B)butを選べば、have nothing **but** sympathy
for ~で「～に対して同情以外に何も持たない」という意味になるので、これが正
解になります。

5. 「我々の商品をそんな安い値段では売れない。アダムにもう一度買い手と交渉するよう頼
むべきだ」

- ▶ 選択肢はすべて前置詞です。前置詞パターンの問題では、まず空欄前後に特定の
前置詞との組み合わせで使われる語がないかをチェックしましょう。

- ▶ 本問では空欄直前の **negotiate** が (A)with と結びついて、negotiate **with** ~ (～と交
渉する) という意味になり、文意も通るので、これが正解になります。

□ **negotiate with** ~ 「～と交渉する」

The government refused to negotiate with terrorists.

(政府はテロリストと交渉することを拒否した)

6. 「美しい浜辺が豊富にあるため、その島には毎年何百万もの人々が訪れる」

- ▶ 選択肢には前置詞と接続詞が並んでいます。空欄の語は、直後の名詞句 **its many beautiful beaches** (その美しい多くの浜辺) を後半の節につないでいるので、前置詞が入ると推測できます。
- ▶ 選択肢の中で前置詞は(A)Since(～以来)と(B)With(～があるため)の2つで、「美しい浜辺が豊富にあるので」という意味になる(B)withが正解になります。

7. 「我々のチーム最高の選手が怪我をしたが、それでも我々は選手権で優勝した」

- ▶ 選択肢は副詞(even, however)と接続詞(because, although)で構成されています。空欄の語は、あとに続く節(the best player on our team was hurt)をつなぐ働きをしているので接続詞であると推測できます。
- ▶ 主力選手の怪我にも関わらず、チームは優勝したのですから「～にもかかわらず」という意味の(C)althoughが正解になります。
- ▶ 副詞howeverは接続詞的にも使われますが、「それにもかかわらず」という意味で使われる場合はコンマで区切られます。

[例] This coat costs too much. **However**, the material is excellent.

(このコートは高価すぎる。とはいえ、生地は上等だ)

8. 「ジャックと彼の妻は去年結婚して以来ずっと、ヨーロッパに休暇に出かけることを楽しみにしている」

- ▶ 選択肢にはlook forward toという句動詞に関するさまざまな時制が並んでいます。正しい時制を選ばせる問題には、時制を決定するヒントを問題文中に探す方針で解きます。
- ▶ 本問では後半の...ever **since they got married last year.** (昨年、結婚して以来ずっと) のsinceがポイントです。since節を伴う文の主節では完了時制を用いるのが原則なので、(D)have been looking forward toが正解になります。

9. 「科学者によれば、現在、ほとんどの国で汚染が深刻な問題にいるということだ」

- ▶ almostは副詞で、名詞であるcountriesを直接修飾できませんから(A)almostは誤りです。形容詞allを間にはさんで、almost **all countries**ならばOKです。most ofの後にはtheや所有格(**one's**)のつく名詞が来ますので(B)most ofも誤りです。形容詞most「ほとんどの」で修飾される名詞にはtheがつかないので、(C)the mostも誤りです。以上から、正解は「ほとんどの国々で」という意味になる(D)mostになります。

10. 「私は昔の車よりずっと良い新しい車を持っている」

- ▶ 選択肢には副詞が並んでいます。直後にbetter thanという比較級が続いているので、空欄には比較級を強める副詞が入ると推測できますので(A)muchが正解になります。

比較級を強める語句

- **much** [(by) far/a lot] + 比較級「ずっと～/はるかに～」
- **many more** + 複数名詞 + **than**... 「…より(数が)ずっと多くの～」
 - ▶ 「量がずっと多い」の意では「**much more** + 不可算名詞」の形になります。

11. 「私は今日の午後、銀行へ行ってきます。家を買うためにローンを組むことができるかどうか尋ねてみます」

- ▶ 選択肢はすべて基本動詞takeを含む句動詞です。句動詞パターンの問題では、基本的に、文意に合ったものを選ぶだけです。

訳を当てはめると、「私は今日の午後、銀行へ行ってきます。家を買うためにローンを[(A)take up「占める」(B)take in「だます」(C)take away「取り除く」(D)take out「組む」]ことができるかどうか尋ねてみます」となり、(D)take outが正解となります。

□ **take out** ~「(人)を(食事などに)連れ出す/(ローン)の手続きをする/を外へ出す」

He took her out for dinner.(彼は彼女を食事に連れ出した)

I take out the trash every morning. (私は毎朝ゴミを出します)

12. 「ユウコは1か月のうちに2度も国の宝くじに当たったんだって!私にも彼女のような幸運があればいいのに」

▶ 選択肢には「運」に関する名詞が並んでいますが、これらには微妙なニュアンスの違いがあります。

(A)fortuneは運や運命を表すやや堅い語でgood[bad] fortuneで「幸(不)運」という意味になります。(B)chanceは幸運または、偶然によって生じた「機会、好機」。

(C)destinyは「(避けられない)運命、宿命」で、(D)fateは「(不幸な)運命」というニュアンスを持ちます。以上から、正解は(A)fortuneになります。

13. 「君が今晚のイザベルの卒業夕食会に出席するつもりだと聞いてとても嬉しいです」

▶ 選択肢には「前置詞 + us」の形のものが並んでいます。本問は空欄前の動詞joinの語法に着目します。

▶ joinには他動詞/自動詞の用法がありますが、「(人)に加わる」という意味で「人」を目的語にする場合は他動詞になります。よって、(B)(C)(D)のような前置詞は不適で(A)usが正解になります。

▶ 問題文と同様の意味を自動詞joinで表すには、前置詞にwithを用います。

It's really good to hear that you'll be joining with us in Isabel's graduation
自動詞

dinner this evening.

14. 「5年間の休止期間の後で、そのロックバンドは再びコンサートツアーを始めた」

▶ 選択肢には「休止」に関係した名詞が並んでいます。それぞれ、(A)pause「(一時的な)休止、中断」、(B)interval「休止期間、(時間の)間隔」、(C)stop「停止」、(D)reset「リセット、再起動」という意味で、文意から(B)intervalが最適です。

15. 「ビルは宿題を提出する前に、スーザンにチェックしてくれるよう頼んだ」

▶ 各選択肢に含まれるitはhis assignment(宿題)を指します。どの選択肢も文法的に正しいので、文意に最もふさわしいものを選ぶ方針で解きましょう。

check A for ~で「A(物)を～がないかどうか調べる」という意味になるので、(A)check itが正解になります。

[例] **check** the document **for** spelling errors

(スペルの誤りがないか書類をチェックする)

▶ 本問では、南山英語の頻出表現である「宿題を提出する(hand in his assignment)」が登場しています。

「～を提出する」という意味の(句)動詞

hand [give] **in** ~ 「(手渡しで)(宿題・辞表など)を提出する」

send **in** ~ 「(郵送・メールで)～を提出する」

turn **in** ~ 「(宿題・辞表など)を提出する(手渡し・郵送どちらも可)」

submit **A** **to** **B** 「A(書類・案など)をBに提出する」

present **A** **to** **B** 「A(報告書など)をBに提出する」

16. 「このエレベーターは故障中です。代わりにもう一つの方をお使いください」

▶ 選択肢はすべて「out of + 名詞」の慣用句が並んでいます。本問も英文の内容にふさわしい意味をもつものを選ぶ方針で解きます。

▶ 各選択肢はそれぞれ、(A)out of place「場違いの」、(B)out of order「故障して」、(C)out of danger「危険を脱して」、(D)out of work「失業して」という意味ですから、(B)out of orderが正解になります。

「out of + 名詞」の表現

out of order 「(機械や設備が)故障して」 **out of date** 「時代遅れの」

out of sight 「見えないところに[で]」 **out of control** 「手に負えない」

out of focus 「焦点が外れて」 **out of service** 「運行中止で/調整中で」

out of shape 「体調が悪くて」 **out of reach** 「手の届かないところに」

17. 「多くの地下鉄の乗客は仕事や大学へ行く途中、ソーシャルメディアを使って楽しむ」

- ▶ 選択肢には動詞が並び、空欄のあとにはto work(不定詞?)が続いているが、これは**to不定詞を目的語にとる他動詞**を選ぶ問題ではありません。workは等位接続詞orでuniversityと結ばれているので、ここでは名詞の扱いです。したがって、空欄後には**自動詞**が入ることになります。
- ▶ (A)transportは「～を輸送する」という**他動詞**なので始めに除外しておきましょう。自動詞用法をもつ残り3つはそれぞれ、(B)trip「つまずく」、(C)は**commute to**～「～へ通勤[通学]する」、(D)は**move to**～「～へ移動する/引っ越す」という意味ですので、文意に相応しいものは(C)commuteになります。

18. 「マイケルはいつも非常に立派な身なりをしている。私は彼のファッションセンスが好きだ」

- ▶ 単語のレベルは易しいのですが、超難問です。類義語の細かい使い分けの問題は、どんなに考えても知識がなければ解けないので、絶対に違うもの以外の中から勘で選んでもよいでしょう。
- ▶ 「～のセンスが良い」という表現には、2通りあります。一つは、「**have good taste in**～」、もう一つは「**have a good sense of**～」です。「服のセンスが良い」という場合は**have good taste in clothes**、「ファッションセンスが良い」という場合は**have a good sense of fashion**[style]と表します。よって、本問の正解は(D)fashionになります。なお、(C)wearは**sportswear**(スポーツウェア)などのような**複合語**を作りますが、単独で「衣服」を表す名詞としては使われません。

19. 「メアリーはとても熱心な学生だ。彼女のあら探しをすることは難しい」

- ▶ 選択肢はすべて**他動詞**です。空欄に続く**fault with her**を含めて文意に合ったものを選びましょう。find fault with Aで「Aのあら探しをする」という意味のイディオムを作りますので(A)findが正解になります。

find fault with A 「Aのあら探しをする/Aを非難する」 (=criticize)

My boss always finds fault with my work and it really irritates me.

(上司は私の仕事のあら探しばかりするので、本当にいらいらする)

20. 「ウェンディは学校に来られない。昨日バドミントンをやっていて膝を痛めたからだ」

- ▶ 選択肢には怪我や損傷に関する動詞が並んでいます。どれも**他動詞**なので文法的にはどれも入れることは可能ですが、目的語であるher knee(彼女の膝)という**単語の属性**(人体の一部)から、(D)hurt「(人の体)を傷つける」が正解になります。その他の選択肢は、(A)harm「(人)を害する」、(B)affect「～に影響を及ぼす」、(C)crash「(物)をぶつけて壊す」という意味です。